
短歌ごっこ'10.水無月

逸見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短歌じつこ・10・水無月

【著者名】

ZZマーク

【作者略】

逸見

【あらすじ】

日常を詠んできます

短歌の形式だけど、「短歌」と言い切つてしまつのはなんかおこがしい

そんな訳で「短歌じつこ」です

心つて

背中合わせの

願望が

小競り合いする

小さなエリア

物忘れ

告白話に

花が咲く

楽しくカナシイ

友との会話

振れ幅が

段々小さく

なつて行く

ゆっくりじっかり

はつきりきつぱり

久しぶり

まぶしいほどの

晴れっぷり

浮くキモチだけ

どこかに遠出

前の日と

似たような今日

終わつたら

今日のような

明日を迎える

探し物

落とした物に

忘れ物

探して進む

巨大なチャート

レース模様

カーテン越しの

月明かり

スポットライトを

浴びてるベッド

心には

記憶のシャッター

押した日の

笑顔が並ぶ

アルバムがあり

日を受けた

緑を揺らし

吹く薰風

大きく背伸び

青空見えた

あの頃と

変わったものは

なんだらう

成長と言つ

名の諦めか

辞書にある

言葉はとても

きれいすぎ

何だからちょっと

違ひ(氣)がする

鶯の

鳴き声聞こえし

山里は

音と色とで

季節を伝ふ

焦燥感

願望 躊躇

諦観や

揺蕩 葛藤

塊になる

日常に

あの頃からの

クセ一つ

直せないよ

クセなんだから

1 . 2 . 3

朝の布団の

魅力から

飛びだす程度の

勢いつけて

幾重にも

囮まれている

繭の中

うずくまり生ぐ
死したる如く

思い出は

甘さや少しの

苦みとか

酸味を混ぜて

寝かせたジュース

無いものを
数えることの

意味のなさ

知りつつ折る指

愚かな行為

立ち止まり

空に向かって

切るシャツタ-

青い欠片の

つまつた携帯

花便り

写メに返信

夕焼けを

送つて楽しむ

母はメル友

日曜日

時間限定

晴れ予報

一か八かの
二度目の洗濯

綿菓子の

甘くふわふわ

した夢を

欲しがつていた

遠い遠い日

「元氣?」とも

聞かず始まり

「おやすみ」も

交わさず終わる

普段着メール

泣き声は

聞こえないけど

見えて来る

寂しいのだね

淋しいのだね

おもちゃ箱

四次元ポケット

宝箱

ワクワク満載

Youtubeの中

ゆらゆらと
小さく揺れる

ストラップ

振れ幅ほどの

微かな動搖

首筋に

まとわりつく髪

耐えかねて

ヘアゴム探す

夏日の午後に

久しぶり

ゆっくり話す

自分との

会話を五七の

リズムに乗せて

プレゼント

あなたに選べ

なくなつて

もう10回目の

父の日でした

目覚めでは
浅い眠りを
繰り返し
迎えた朝は

灰色の空

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3066m/>

短歌ごっこ'10.水無月

2010年10月22日13時14分発行